



NEWS RELEASE

2025 年 3 月 18 日

特種東海製紙株式会社
トーエイ株式会社

～製紙と環境の両輪による成長を目指して～

特種東海製紙グループ トーエイ

「プラスチック高純度選別ライン」の稼働開始のご案内

家電・小型家電、ガラス、プラスチックなどのリサイクルを行う、特種東海製紙グループトーエイ株式会社（愛知県知多郡、代表取締役社長 今津真治）は、このたび同社プラスチックリサイクル工場【Port Dream Factory】にて、「プラスチック高純度選別ライン」を稼働開始する運びとなりましたのでご案内いたします。

トーエイでは長年に渡り家電由来のプラスチックリサイクルを手掛けてきましたが、最新の選別ライン導入により、これまでは処理が困難であった金属部品を含む混合品や硬質プラスチックなども再生・精選別可能となります。2022 年にプラスチック資源循環促進法が施行されるなど、プラスチックリサイクルの高度化へのニーズが高まる中で、お客様からのご要望に対応するとともにマテリアルリサイクル事業の更なる差別化を図ります。

当社グループでは、製紙 3 事業（産業素材・特殊素材・生活商品）に加えて資源再活用や井川社有林の有効活用を環境関連事業として新たなコア事業と位置づけ、事業ポートフォリオの変革を進めています。

資源再活用事業においては、2020 年以降トーエイを含む 3 社をグループ会社化するなど、事業規模の拡大とともに、収集した廃棄物を製紙工場の燃料として再利用するサーマルリサイクルから素材そのものを再生するマテリアルリサイクルへと事業領域を広げています。今後も更に経営資源を投入し、製紙と環境の両輪での成長により持続可能な社会の実現に努めてまいります。引き続き当社グループの取組みにつきましてご注目ください。

【プラスチック高純度選別ラインの特長】

1.自動車部品、ライト付きバンパーなど、再生難易度の高い『金属付き複合プラ』※を強力に再生処理生産。

※『金属付き複合プラ』・・・破碎の難易度、その後の選別難易度ともに最難関であり専門の知識・ノウハウがなければ焼却や埋め立て処理となってしまうリサイクル困難品

2.生産工程端材など、はっきり組成がわかっている材料については、ピンポイントでの専用処理構成の編成による高精度・高純度のリサイクル材生産が可能。新ラインの破碎・粉碎～色彩選別ライン～金属検知と従前から改良を積み重ねてきました比重選別・光学式選別も組み合わせた柔軟な処理構成をご提案可能です。

3.リサイクル黎明期から20年以上の再生業の知見を結集し、お客様ごと・お品物ごとのリサイクル方法を、2024愛知環境賞・優秀賞の受賞原動力ともなったプラスチック再生インフラを背景にご提案します。



工場外観（半田市役所すぐ）



竣工式 2025年2月20日



処理・選別後 製品

【本件に関するお問合せ】

特種東海製紙株式会社 コーポレートセンター サステナビリティ推進室 TEL.03-5219-1810
トーエイ株式会社 総務部企画課 TEL. 0562-83-3880（トーエイ株式会社 本社）